

室外機 11A・B・C・D・E

LD303 (運転ランプ) 運転時:点灯 停止時:消灯		自己診断	表示理由	主なチェックポイント
消灯	消灯	正常停止		①室外端子台1-2間にAC100V (AC200V) がきているか確認 ・OK: 室外機点検・NG: 室内機点検 (室外電圧可変機種は電源電圧修正) ②室外機の点検: リアクタ接続、各ヒューズを点検し、異常がなければ室外電圧品 (制御基板) 交換 ・リアクタの接続に不具合があれば修正 ・25Aヒューズ断線→室外電圧品 (制御基板) 交換 ・1A (2A) ヒューズ (F4) 断線→室外ファンモータ点検 DCファンモータの点検 ③室内機の点検 ・Fケーブル接続、接触不良があれば修正 ・電源電圧に異常があれば電圧修正 (AC100V機種はAC200V投入→室内3Aヒューズとバリスタ交換) 異常がなければ室内電圧品 (制御基板) 交換 (H18年EXシリーズは室内制御基板とリレー基板交換)
点灯	点灯	過負荷 (1)	 <p>これは過負荷の状態であり、故障ではありません。</p>	
消灯	点灯	過負荷 (2)		
点灯	点灯	過負荷 (3)		過負荷状態で圧縮機を保護するため回転数を自動的にコントロールする
※点滅は0.25秒間隔で点灯と消灯をくり返します。				
点滅	消灯	リセット停止	電源リセット停止のとき (電源投入時正常)	一旦電源を切り、室外FM、電動形圧縮機等のコネクタをひとつずつ外して強制冷却運転する。コネクタを外すことで圧縮機が動作すればコネクタを外した部品交換。どのコネクタを外しても「リセット停止」のままでは圧縮機が動作しなければ室外電圧品交換 ②室内機の運転状況が空運転中「単独換気運転中」 「カビ発生設定中」「汚れ見張り運転中」「入りタイマーの2時間前」の場合は正常 (運転状況が該当しない機種もあります)
1回点滅				
点滅	消灯	ピーク電流カット	過電流を検出したとき	セルフチェック診断法 ①一旦電源を切り直流電圧が放電するまで待つ (10分以上) ②室外制御基板上にあるジャンパー線JW001をニッパーで切断する※JW001: JW002をフロッグクリップ等で短絡することでセルフチェック可能な機種あり ③再度電源を投入し、室内機を空運 (ミスト) 運転する※リモコンに電源 (ミスト) ボタンのない機種は室外端子台1.2に直接AC電源を投入する (注) ④テストSWを1秒以上押しとセルフチェックが始まり、終了するとLD303が点灯し、LD301が点滅する
2回点滅				
点滅	消灯	異常低速回転	数10mm <sup>3</sup> /以下のとき	①1回点滅: 圧縮機異常 制御基板はJW001をハンダ付けしてから使用する (JW001とJW002を短絡しては解除する) ②2回、7回、10回、13回点滅: 圧縮機コネクタを確認し、抜け等なければ室外電圧品 (制御基板) 交換 ③次のようなことがあれば原因を取り除く 冷却時: 室外機周囲が湿らされている 直射日光が当たる 室外交換機が目詰まりしている 暖房時: 室内空気換気やフィルタが目詰まりしている ④室外ファンが回らなければファンを点検 (ファンロック停止参照) ⑤運転圧力確認・OK: 室外電圧品 (制御基板) 交換 ・高い: 規定量の冷媒再注入
3回点滅				
点滅	消灯	切換失敗	低周波同期始動から位置検出運転への切換失敗	
4回点滅				
点滅	消灯	過負荷下限カット	過負荷制御回路が動作したまままで 最低回転数以下	
5回点滅				
点滅	消灯	OHサーミスタ温度上昇	OHサーミスタ温度上昇	OHサーミスタ抵抗値確認 (25°C: 約34kΩ 30°C: 約27kΩ 50°C: 約11kΩ 120°C: 約1kΩ) DEF、外気温サーミスタ抵抗値 (0°C: 約6kΩ 25°C: 約2kΩ 40°C: 約1kΩ) ・OK: 室外電圧品 (制御基板) 交換・NG: 異常サーミスタ交換 ②冷媒流れがなく、圧縮機も熱くならずすぐ故障モードになる場合、室外電圧品 (制御基板) 交換 圧縮機が異常に熱くなる場合、圧縮機交換
6回点滅				
点滅	消灯	サーミスタ異常	室外サーミスタがショートまたはオープンするとき	①室外サーミスタのコネクタ外れ、接触不良確認 ②室外サーミスタ抵抗値確認 OHサーミスタ抵抗値 (25°C: 約34kΩ 30°C: 約27kΩ 50°C: 約11kΩ 120°C: 約1kΩ) DEF、外気温サーミスタ抵抗値 (0°C: 約6kΩ 25°C: 約2kΩ 40°C: 約1kΩ) ・OK: 室外電圧品 (制御基板) 交換・NG: 異常サーミスタ交換
7回点滅				
点滅	消灯	サイクル温度上昇	通常運転時、熱交換器上部と下部温度が不均衡	①電動形圧縮機コネクタ (3回)、デフロスターサーミスタ1のコネクタ外れ、接触不良確認 ②電動形圧縮機コイル (3回) の抵抗値 (40~50Ω) を確認し、異常があれば異常コイル交換 ③電源リセット後のインシャイズ動作中 (30~40秒) に電動形圧縮機コイル (3回) への過電流確認。 基板上B-0Vに対して電動形圧縮機コイル①~④のピン ・同じ電圧 (バルス) になる→サイクル異常 (特に電動形圧縮機2, 3) ・DC1.2VあるいはDC1.2Vのまゝ→室外電圧品交換 ④Fケーブルの接続を確認し、不具合があれば修正 ⑤室内機タイマランプの点検 ⑥3回点滅している場合、室内端子台温度ヒューズを確認し、断線しては室内端子台交換。断線しては室内電圧品 (制御基板) 交換 ⑦12回点滅している場合、室外電圧品 (制御基板) 交換 ※室外電圧可変機種は室内機に故障表示がでると室外機は4回点滅になる。室内故障表示確認
8回点滅				
点滅	消灯	通信エラー	通信が途絶えたとき	①Fケーブルの接続を確認し、不具合があれば修正 ②室内機タイマランプの点検 ③3回点滅している場合、室内端子台温度ヒューズを確認し、断線しては室内端子台交換。断線しては室内電圧品 (制御基板) 交換 ④12回点滅している場合、室外電圧品 (制御基板) 交換 ※室外電圧可変機種は室内機に故障表示がでると室外機は4回点滅になる。室内故障表示確認
9回点滅				
点滅	消灯	電源電圧異常	電源電圧が異常のとき	①室外端子台1-2間電圧が正常範囲か確認し、不具合があれば修正 ②リアクタの接続に異常があれば修正 異常がなければ室外電圧品 (制御基板) 交換
10回点滅				
点滅	消灯	強風によるファン停止 (注1)	ファンモータ回転中に強風等の外乱によりファン一時停止	風が弱まると再起動する 再起動しなければ室外ファンモータ点検 (ファンロック停止参照)
11回点滅				
点滅	消灯	ファンロック停止	ファン運転指令が出力しているにもかかわらずファン回転信号入力がないとき	①室外ファンに異物等あれば取り除く ②室外ファンコネクタに抜け、接触不良があれば修正 ③電源を切り、室外FMコネクタを外し、ファンを手で回して重いようなら室外ファンモータ交換 ④室外ファンモータ電圧確認 DCファンモータの点検方法参照
12回点滅				
点滅	消灯	E・P・R O M 読み込みエラー	マイコンがE・PROMのデータを読めなかったとき	室外電圧品 (制御基板) 交換
13回点滅				
点滅	消灯	ACT電圧異常	直流電圧が異常のとき	室外電圧品 (制御基板) 交換
14回点滅				
点滅	消灯	ACT回路異常		室外電圧品交換
15回点滅				

(注1) 11回点滅のない機種もあります。  
(注2) リモコン形式RAR-4K2, 4K3, 4T1は、室内機を32°C設定で冷房ボタンを押してから1秒以内に停止ボタンを押します。

室外機 14A・B・C

LD301	自己診断内容	表示理由	主なチェックポイント
消灯	正常停止		①室外端子台1-2間にAC100V (AC200V) がきているか確認 ・OK: 室外機点検・NG: 室内機点検 ②室外機の点検: リアクタ接続、各ヒューズを点検し、異常がなければ室外電圧品交換 ・リアクタの接続に不具合があれば修正 ・25Aヒューズ断線→ 室外電圧品交換 ・2Aヒューズ (F4) 断線→室外ファンモータ点検 DCファンモータの点検方法参照 (P5-65) ③室内機の点検 ・Fケーブル接続、接触不良があれば修正 ・電源電圧に異常があれば電圧修正 (AC100V機種はAC200V投入→室内3Aヒューズとバリスタ交換) 異常がなければ室内電圧品 (制御基板) 交換
	2秒点灯 0.3秒消灯を繰り返す	過負荷状態で圧縮機を保護するため回転数を自動的にコントロールする	過負荷状態であり、異常ではありません
1回点滅	リセット停止	電源リセット停止のとき (電源投入時正常)	一旦電源を切り、室外FM、電動形圧縮機等のコネクタをひとつずつ外して強制冷却運転する。コネクタを外すことで圧縮機が動作すればコネクタを外した部品交換。どのコネクタを外しても「リセット停止」のままでは圧縮機が動作しなければ室外電圧品交換
2回点滅	ピーク電流カット	過電流を検出したとき	セルフチェック診断法 ①一旦電源を切り直流電圧が放電するまで待つ (10分以上) ②室外制御基板上にあるジャンパー線JW001をニッパーで切断する※JW001: JW002をフロッグクリップ等で短絡してから電源を投入し、室内機を空運 (ミスト) 運転する (LD301が4秒点灯 2秒消灯の点滅) ※14Bは、室内機を冷房32°Cで運転する ③テストSWを1秒以上押しとセルフチェックが始まり、終了するとLD301が点滅する ④1回点滅→圧縮機異常 制御基板はJW001をハンダ付けしてから使用する (JW001とJW002を短絡しては解除する) ⑤2回、7回、10回、13回点滅 →圧縮機コネクタ抜けや電源電圧異常等あれば修正 なければ室外電圧品交換 ⑥次のようなことがあれば原因を取り除く 冷却時: 室外機周囲が湿らされている 直射日光が当たる 室外交換機が目詰まりしている 暖房時: 室内空気換気やフィルタが目詰まりしている ⑦室外ファンが回らなければ室外ファンを点検 (ファンロック停止参照) ⑧運転圧力確認・OK: 室外電圧品交換 ・高い: 規定量の冷媒再注入
3回点滅	異常低速回転	数10mm <sup>3</sup> /以下のとき	
4回点滅	切換失敗	低周波同期始動から位置検出運転への切換失敗	
5回点滅	過負荷下限カット	過負荷制御回路が動作したまままで 最低回転数以下	
6回点滅	OHサーミスタ温度上昇	OHサーミスタが動作したとき	OHサーミスタ抵抗値確認 (25°C: 約34kΩ 30°C: 約27kΩ 50°C: 約11kΩ 120°C: 約1kΩ) DEF、外気温サーミスタ抵抗値 (0°C: 約6kΩ 25°C: 約2kΩ 40°C: 約1kΩ) ・OK: 室外電圧品交換・NG: 異常サーミスタ交換 ②冷媒流れがなく、圧縮機も熱くならずすぐ故障モードになる場合、室外電圧品 (制御基板) 交換 圧縮機が異常に熱くなる場合、圧縮機交換
7回点滅	サーミスタ異常	室外サーミスタがショートまたはオープンするとき	①室外サーミスタのコネクタ外れ、接触不良確認 ②室外サーミスタ抵抗値確認 OHサーミスタ抵抗値 (25°C: 約34kΩ 30°C: 約27kΩ 50°C: 約11kΩ 120°C: 約1kΩ) DEF、外気温サーミスタ抵抗値 (0°C: 約6kΩ 25°C: 約2kΩ 40°C: 約1kΩ) ・OK: 室外電圧品交換・NG: 異常サーミスタ交換
8回点滅	通信エラー	通信が途絶えたとき	①Fケーブルの接続を確認し、不具合があれば修正 ②室内機タイマランプの点検 ③3回点滅している→室内電圧品交換 ④12回点滅している→室外電圧品交換
9回点滅	電源電圧異常	電源電圧が異常のとき	①室外端子台1-2間電圧が正常範囲か確認し、不具合があれば修正 ②リアクタの接続に異常があれば修正 異常がなければ室外電圧品交換
10回点滅	電源電圧異常	電源電圧が異常のとき	
11回点滅	強風によるファン停止	ファンモータ回転中に強風等の外乱によりファン一時停止	風が弱まると再起動する 再起動しなければ室外ファンモータ点検 (ファンロック停止参照)
12回点滅	ファンロック停止	ファン運転指令が出力しているにもかかわらずファン回転信号入力がないとき	①室外ファンに異物等あれば取り除く ②室外ファンコネクタに抜け、接触不良があれば修正 ③電源を切り、室外FMコネクタを外し、ファンを手で回して重いようなら室外ファンモータ交換 ④室外ファンモータ電圧確認 DCファンモータの点検方法参照
13回点滅	E・PROM読み込みエラー	E・PROMのデータを読めなかったとき	室外電圧品交換
14回点滅	直流電圧異常	直流電圧が異常のとき	室外電圧品交換
15回点滅	回路異常		室外電圧品交換
16回点滅	高負荷停止中		サービスマンが閉、室外機周囲が湿らされている 室内外熱交換機が目詰まり、フィルタが目詰まりしている